

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

ニフレル生まれのフグたちが初繁殖に認定されました オンラインスタディでフグの魅力や繁殖のウラ話を楽しく解説



初繁殖に認定されたニフレル生まれのフグの仲間たち

(左上: マミズフグ、右上: テトラオドン・ショウテデニィ、左下: パオ・スバツティ、右下: パオ・アベイ)

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、繁殖に成功したフグの仲間4種類について、日本動物園水族館協会の2020年度の「初繁殖認定」を受けました。そのうち2種類は世界初繁殖で、館内「わざにふれる」ゾーンでご覧いただけます。

今回初繁殖に認定された4種類のフグは、いずれも自然界における生態の知見がほとんどなく、飼育している園館も少ないため、詳しい生態が分かっていません。また東南アジアのメコン川やアフリカのコンゴ川流域といった大河川の流域に生息しており、これらは気候変動や開発による水量や水位の変動の影響を受けやすいことから、繁殖生態に関する基礎的研究は、種の保全の上で非常に重要です。ニフレルでは今後も謎の多い生物の生態解明や生物多様性の保全に貢献していきたいと考えています。

また2020年12月19日(土)15時~15時45分の間、ニフレル公式YouTubeチャンネルにて、オンラインスタディ「ニフレル生まれのフグにふれる」を開催し、ニフレルのキュレーターがフグの魅力をつぶりライブ配信でお話しします。

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

お問合せ: NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

①【世界初繁殖】マミズフグ 学名:*Dichotomyctere fluviatilis*

『わざにふれる』ゾーンにて5匹を展示中



<左:展示中のマミズフグ(全長約13cm)、右:誕生後約2か月の稚魚(2019年7月18日撮影)>

《生態》インドやスリランカ、バングラデシュ、ミャンマー、ベトナム南部のメコン川デルタ地帯に分布。主に海に生息するが、河川域や汽水域にも進入する。

《繁殖日》2019年5月14日

《表彰対象個体数》56尾(産卵数:約115,200個)

《繁殖方法》産卵誘発ホルモンによる人工繁殖

②【世界初繁殖】テトラオドン・ショウテデニイ 学名:*Tetraodon schoutedeni*

『わざにふれる』ゾーンにて12匹を展示中



<左:展示中のテトラオドン・ショウテデニイ(全長約7cm)、右:全長約4cmの幼魚(2016年10月26日撮影)>

《生態》アフリカのコンゴ川流域に生息し、全長約10cmと比較的小型の淡水フグの仲間。2016年5月20日に、オスがメスの腹部に噛み付き産卵を促す繁殖行動が見られ、その後産卵が確認された。本種については飼育例そのものが少なく、世界中の生物を飼育展示する施設で繁殖したのはニフレルが初めて。

《繁殖日》2016年5月20日

《表彰対象個体数》14尾(産卵数:約40個)

《繁殖方法》飼育下における自然繁殖

③ パオ・スバツティ 学名:*Pao suvatti* ※現在は飼育展示しておりません。

<左:誕生後約3週間の稚魚、右:卵を守るオス。いずれも2016年5月撮影>

《生態》メコン川流域に生息する淡水で暮らすフグ。背中にハートマーク型の模様があるのが特徴で、砂に潜って隠れて眼をキョロキョロ動かし、周りの様子を伺う。メスが流木に産みつけた卵に、オスが胸ビレを使って新鮮な水を送ったり、卵にゴミなどが付着しないようにして守る様子が観察された。

《繁殖日》2016年5月19日

《表彰対象個体数》22尾(産卵数:合計約590個)

《繁殖方法》飼育下における自然繁殖

④ パオ・アベイ 学名:*Pao abei* ※現在は飼育展示しておりません。

<左:誕生後約3か月の稚魚、右:卵を守るオス。いずれも2018年1月撮影>

《生態》メコン川流域を中心に東南アジアの河川に生息する、一生を淡水で暮らすフグ。成長しても全長10cm程度と比較的小型で、体に丸いオレンジ色の斑点が多数あるのが特徴。

《繁殖日》2017年10月3日

《表彰対象個体数》9尾(産卵数:約63個)

《繁殖方法》飼育下における自然繁殖

【ニフレルオンラインスタディ「ニフレル生まれのフグにふれる」開催要項】

キュレーターが、フグってどんな魚なの？繁殖はどんな方法で成功したの？淡水フグはどうやって飼育しているの？など、ニフレルで分かった様々なフグの魅力を、沢山の資料や映像とともにYouTubeのライブ配信でお話いたします。お家からお気軽にご参加ください。

◆主な内容◆

- ・フグってどんな魚？
- ・どうして「フグ」って言うの？
- ・フグの仲間はだ～れだ？
- ・フグのオスはイクメン！
- ・繁殖の秘ケツは「歯」にあり！
- ・人工繁殖のおはなし



開催イメージ

《開催日》2020年12月19日(土)

《時間》15:00～15:45(予定)

《場所》ニフレル公式YouTubeチャンネルにて配信

《対象》どなたでもご参加いただけます(小学生以上推奨)

《定員》限定しません

《参加費》無料

《注意事項》※YouTubeにアクセスできる端末(PC・タブレット・スマホ等)をご用意ください。

※YouTubeのご利用にあたり、発生した損害につきましては一切の責任を負いかねます。

※参加者の方による録音、録画、スクリーンショットなどは固くお断りします。

※状況により配信時間・終了時間に遅れが生じる場合がございます。

《お問合せ》ニフレルインフォメーション TEL:0570-022060(ナビダイヤル)

◆日本動物園水族館協会・初繁殖認定について

日本動物園水族館協会では、飼育下での繁殖技術の向上と学術的な寄与を目的に、昭和40年より繁殖賞表彰を施行しました。しかし、近年魚類や無脊椎動物での申請が増え、従来の基準では審査が困難な事例も多いためから見直しを行ってきた結果、繁殖賞表彰を廃止し、2019年3月に新たに初繁殖認定を設け、2020年度から実施しています。

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	平日 10:00～18:00、土日 9:30～19:00 (最終入館は閉館の1時間前まで) ※12月24日～25日 10:00～19:00、12月26日～31日 9:30～19:00 ※1月1日～4日 9:30～19:00、1月5日～8日 9:30～18:00 1月9日～11日 9:30～19:00
休 館 日	年中無休。但し、1月26日(火)は設備点検のため休館
施 設 内 容	8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、ミュージアムショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

※ 公式ホームページ	https://www.nifrel.jp
※ ツイッター	https://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	https://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL